



# 学校だより

7月号

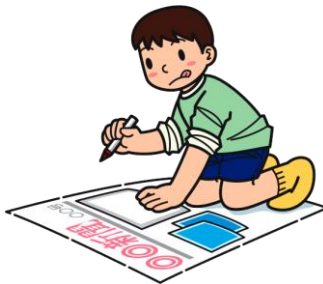
令和3年7月1日  
横浜市立善部小学校  
校長 福田 美穂



善部小 HP

## 考えや思いを発信

校長 福田 美穂



善部小学校ホームページに日々の学校生活をアップしていますが、今、学校の中は、子どもたちが発信しているものでいっぱいです。

3年生が係活動で作成している新聞が上手にできていると褒めると、ぜひ全校のみんなに読んでもらいたいと各学級に配るようになりました。

1回きりでなく、その活動はしっかりと続いています。校長室前にも毎号

掲示しているので、通りすがりに読んでいく人が多いです。その刺激を受けて活動を頑張ろうとしている学級もあります。また、学校のいたるところに6年生がiPadを活用して作り上げた、視点を変えて見るユニークな図工作品が飾られ、多くの子どもが楽しんで見えています。来校される方に紹介すると、子どもらしい発想と工夫に皆さん驚かれます。最近では、1階廊下には、5年生が作ったマスコットキャラクターのミライトワとソメイティが掲示され、総合的な学習の時間に取り組んでいるオリンピック・パラリンピックの競技の情報が満載です。一人一人が興味をもった競技について調べ、伝えたいことを端的にまとめていました。いろいろある中で開催するオリンピック・パラリンピックですが、これらの情報を含め、子どもたちにとって競技の技の見せ合い、お互いを尊重する姿は心に残ることでしょう。

どの教室の中でも、意見交換が活発だったり、絵画や工作に夢中になっていたり、個々に配付したiPadを活用した学習にわくわくしていたりして、自分の考えや思いを伝えていこう、もっと出していこう、という雰囲気があります。懸命に手を挙げて聞いてほしい、言いたい思いを子どもたちは素直に出しています。それは「であい ふれあい ひびきあい」の活動が昨年度よりも行えているからだと考えています。子どもたちは、何かを体験したり感じたりしたことを伝えたい思いがあるものです。それを引き出して、伝える場をつくること。お互いにキャッチし合うことでもっと考えを深め、さらに発信したいと思わせること。これを学校でしっかり取り組んでいきたいと思えます。

ぜひご家庭でも、学校ホームページや学校・学年だよりをもとに、子どもたちとの言葉のキャッチボールを楽しみ、子どもの発信力の伸びを感じていただきたいです。

さて、6月15日に第1回善部小学校協働運営協議会を開催しました。今年度も安全ボランティアの正成様を委員長に、7人の地域の方、南希望が丘中学校長、横浜隼人中学高等学校長、PTA会長、学校長の11人の委員を中心に善部小学校の豊かな教育活動について話し合っていきます。学校評価を含め、全4回開催の予定です。

今月末は夏休みに入ります。コロナ感染や交通事故等に気を付けて、元気に過ごしてほしいです。前期前半の学習が夏休みに生かされることを願っています。

